

2019年10月11日

報道関係各位

株式会社ダイセル

## 令和元年度 中国地方発明表彰で「発明奨励賞」を受賞

株式会社ダイセル(本社：大阪市北区、社長：小河義美)は、令和元年度「中国地方発明表彰」(主催：公益社団法人 発明協会)にて、「酢酸セルロース製造用のパルプの解砕方法及び酢酸セルロースの製造方法」によって「発明奨励賞」を受賞いたしました。

「地方発明表彰」は優れた発明等を生み出した技術者・研究者に対して行われるもので、1921(大正10)年からの歴史があります。このたびの表彰では、本発明の実用化による社会的貢献が評価されました。

表彰式は2019年10月25日(金)に広島市の「広島ガーデンパレス」にて行われます。

### <受賞発明の概要>

#### 【名称】

酢酸セルロース製造用のパルプの解砕方法及び酢酸セルロースの製造方法(特許番号：5816395)

#### 【発明者】

保坂光輝、岡野俊紀、位田雄二

#### 【内容】

本発明は、当社の主力製品である「酢酸セルロース」の原料であるパルプの解砕(シートを繊維状にすること)方法と、解砕されたパルプを用いて酢酸セルロースを製造する方法です。この方法によればパルプの劣化を抑制しながら、均一な状態に解砕することができます。そしてこの方法で解砕されたパルプを原料とした場合、未反応物を低減して透明性・ろ過性・可紡性に優れた酢酸セルロースの製造が可能です。

当社は2016年より大竹工場(広島県大竹市)に本発明の解砕装置を設置し、反応剤・溶媒の使用量を削減することで環境負荷物質の排出を低減し、より環境に配慮しながら、良質な酢酸セルロース製造を行っております。

以上

### <本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ダイセル

IR・広報室

TEL：03-6711-8121